

経験すること、考えることが大事

新入社員が入って2か月目、3か月目のこの時期に、新入社員を預かる上司は、それなりに悩ましい時期かもしれません。いろいろと経験をさせたいけれど、大事な仕事を失敗してもらっては困るし、そうは言っても経験させないと何時までも覚えられない、その仕事をこなせない、スキルアップできないことになります。

上司は、経験の少ない新入社員やその仕事にまだ慣れない中途採用の社員に向けてこれまでの自分自身の経験を生かして知識を与えて指導やアドバイスを的確に行い、不安なくチャレンジさせていくことです。

仕事にも大小がありますが、小さいことからどんどんチャンスを与えてやらせるべきです。

部下が前向きにチャレンジしやすいように「経験すること、考えることが大事」ということを常に発してほしい。

なぜならば、経験をする、やってみると、周りの反応が見え、手応えがみえてくるもので、そうして進め、考えていくと知恵がついてくるものです。

経験していれば+1になりますが、していないと0のままです。

経験するとモノが言える、教えることが出来るようになります。

経験することが一番強いということになります。

もうひとつ「一学一践」という言葉があります。一つ学んでそれを実践する(経験する)。そこに思考が働き、身につき、自分のものになって、スキルアップに繋がっていくことになります。

以上のような事を取り組んだり、折に触れ部下に話していくと、戦力は早期に増していくと思います。



長嶺 堅二郎